

3期目突入の谷口健 JPBA 会長に聞く



▲4月15日、東京ポートボウル内「COSTA COFFEE」にて取材

「今年も感染防止対策に万全を期して、できるだけ多くのトーナメントが開催できるように努力したいと思っています」

本紙前号にて既報のとおり、さる3月15日にリモート開催された新年度の第1回JPBA理事会において、3期連続で会長職に推挙された谷口健氏。昨年、コロナ禍にあって2つの新設トーナメントを誕生させたラツ腕会長は、今年もプロボウリングのステータス向上を期して邁進する覚悟だ。

——JPBAの会長職も3期目に突入しました。コロナ禍が再拡大するなかで、今年の公式戦はどうなるのかが気になります。

谷口 たしかに、最近第4波到来と言われ始めて、大阪でも一日1000人を超える感染者がいるなかで、正直われわれも心配しているところはあります。現状、6月の関西オープンについては開催する方向で準備していますし、7月末の大岡産業レディースオープンも、今年は賞金額を倍増した大会にバージョンアップして開催する予定でいます。

——大岡産業レディースのほかAPAプレゼンツのKING'S & QUEEN'Sと、昨年は会長のご尽力もあって、コロナ禍のなかで2つの新設大会が開催されました。

谷口 あとひとつ、住建ハウジングの大会(チャンピオンズカップ)は緊急事態宣言が出て開催できなくなりましたが、今年改めて開催の方向で先方に伺った矢先にまた、こんな状況になってしまって(苦笑)。残念ですが、スポンサーにご迷惑をおかけするわけにはいきませんからね。

——KUWATA CUPも、決勝大会の2日前に中止が決まりましたが、今年も実行委員会が再

始動をアナウンスした直後に緊急事態宣言が出て、まるで昨年の再現ビデオを見ているような状況です。

谷口 KUWATA CUPは3月から7月という話も出ていたのですが、今後の状況を推測すると、なかなか難しいでしょうね。コロナには振り回されっぱなしですが、大会はできる限り開催していかないと。KUWATA CUPも住建ハウジングも、開催に向けた話し合いは継続しています。

——5月のグリコセブンティーンアイス杯は、スポンサーサイドから「無観客が開催の条件」と申し入れがあったとか。

谷口 そうですね。われわれもだいたいコロナのことがわかってきたので、今後は“3密”を避ける対策をとった上で、少しでもギャラリーを入れてという方向性も考えていきますが、今すぐには難しいと思っています。

——昨年の緊急事態宣言時には、スポーツ・レジャー産業は真っ先に“不要不急”のレッテルを貼られて、ボウリング場も休業要請の対象になりましたが、解除後も大会を含めて、ボウリング場でクラスターが発生した事例はありませんでした。

谷口 われわれも「安心・安全」

を最優先に考えて、スポーツ庁とコロナ対策をしっかり煮詰めて、それに沿ったカタチで大会を開催していますから。さらに自分たちでハードルを上げて、大会ごとに選手・関係者にPCR検査も実施しています。かなり費用もかかりますが、それでもやっていかないと、今の状況ではなかなか受け入れてもらえないですからね。

——今年も、昨年と同じくらいのトーナメント数は確保できそうですか？

谷口 はい。正直「トーナメントの開催はやめるべきだ」という意見の人もいました。でも、やめるのは簡単だし、何とかしてやろうと努力することのほうが大変ですけど、すべきだと思って、結果的にある程度のトーナメントを開催することができた。これまでPCR検査をするなかで、陽性者もゼロではなかったけれど、大会前に判明して事なきを得ました。今年も感染防止対策に万全を期して、できるだけ多くのトーナメントが開催できるように努力したいと思っています。

トップリグ構想の実現を目指す

——谷口会長は「業界外のスポンサーに支えられてこそ」の思

いで、この4年間トーナメント開発に尽力されてきましたが、3期目の目標は？

谷口 3年前から準備を続けているトップリグ構想…きょうもその会議で東京に向いたのですが、これは何とか、私の責任において実現させたいと思っています。協会員のみならず、皆さんからも大きな期待をいただいているし、私自身、今後のプロボウリングの柱になっていくという期待を持っていますから。

——昨年の取材時にお話されていた“ビッグプラン”です。

谷口 はい。予定ではすでに発表会を終えているはずなのですが、コロナで3回流れてしまいました(苦笑)。近々正式に発表して、年内には現状のプランを落とし込んだテスト大会をスタートさせたいと思っています。ただ、これにもスポンサーが必要で、応援していただける企業さんに対してもメリットのあるようなものを創り上げるべく、いま委員の方に努力してもらっています。内容の詳細は正式発表までお待ちください。

——新任の塩山(一美)副会長はどんな役割を？

谷口 プロボウリングは従来から競技部門とインストラクター部門の二本柱でやっています。塩山さんには長年にわたってインストラクター部長をやってもらっていて、今回はその延長線上で副会長の重責を担っていただきます。私はトーナメント開発が一番の仕事ですが、今それに匹敵するトップリグを開発中なので、それはぜひボウリングファンのみなさんにも期待していただきたい。これまでとは違うプロボウリングの魅力…より興味深いものをお見せできるとしています。

——コロナ禍でセンターの閉鎖が相次いでいます。閉鎖しないまでも、業績不振を理由にボウリング場協会を退会するセンターも少なくないようです。

谷口 業界全体が厳しい状況にあるのはたしかですが、プロボウリングが発展すれば、当然そこにファンはついてくるし、ボウラーも増えるでしょう。そのあたりのことも含めて、できる限り業界に貢献したいと思っています。



▲APAプレゼンツKING'S & QUEEN'Sの表彰セレモニー。谷口会長はAPAホテル・元谷芙美子社長の「感動した」という言葉に意を強くしたという(20年11月7日、サンスクエアボウル)

——老若男女を問わずにプレーを楽しめるのがボウリングですから、業界のポテンシャルも決して低くはないですよ。

谷口 そうなんです。昨年のAPAの大会は無観客開催でしたが、グループの代表(元谷外志雄氏)とホテルの社長(元谷芙美子氏)が会場に来られて、お二方から「感動した」という言葉をいただきました。それもボウリングの力だと思っています。社長は最後、姫路のスプリットメイドに飛び上がって手を叩いておられましたからね(笑)。だから見てもらわないとダメなんです。ボウリングは見ても楽しいし、いくつになってもプレーできるという大きなポテンシャルを持っているわけですから。ボウリングが再び、世間から広く認知される日が来ることを信じて頑張りたいと思います。

たにくちたけし / 1954年7月3日生まれ、大阪府出身。73年プロ入り(11期/ライセンスNo.346)。174cm78kg、右投げ。優勝8回(85年第1回ジャパンカップ覇者)。公認パーフェクト8回、同800シリーズ4回。93年に(公社)日本プロボウリング協会(JPBA)理事就任。2010年副会長を経て17年より現職(現在3期目)。日本ボウリング機構(JBO)共同代表。19年日本プロボウリング殿堂入り。

2021年開催予定のプロボウリング公式戦

開催日	大会名	会場
5月22～23日	第8回グリコセブンティーンアイス杯プロアマ(男女)	富山地鉄ゴールデンボウル
6月9～12日	スカイAカップ第42回関西オープン(男子)	大阪・牧野松園ボウル
6月25～27日	第11回HANDA CUPプロボウリングマスターズ(男子)	東京・品川プリンスホテルBC
7月2～3日	第37回六甲クイーンズオープン(女子)	兵庫・神戸六甲ボウル
7月28～31日	第2回大岡産業レディースオープン(女子)	大阪・ボウルアロー松原店
9月15～18日	第15回MKチャリティカップ(男女)	京都・MKボウル上賀茂
10月15～17日	コカ・コーラカップ2021千葉オープン(女子)	千葉・ユウカリボウル
11月4～7日	2021宮崎プロアマオープン(女子)	宮崎エースレーン
11月10～13日	APAプレゼンツKING'S & QUEEN'S(男女)	(会場調整中)
11月20～21日	全卸連プレゼンツJPBA☆SSSカップ2021(男女)	東京ポートボウル
12月1～4日	第43回JLBCプリンスカップ(女子)	東京・品川プリンスホテルBC
12月10～12日	HANDA CUP第55回全日本プロ選手権(男子)	埼玉・新狭山グランドボウル
12月16～18日	HANDA CUP第53回全日本女子プロ選手権(女子)	東京・東大和グランドボウル

※4月28日現在で開催日がフィックスされている大会のみ掲載